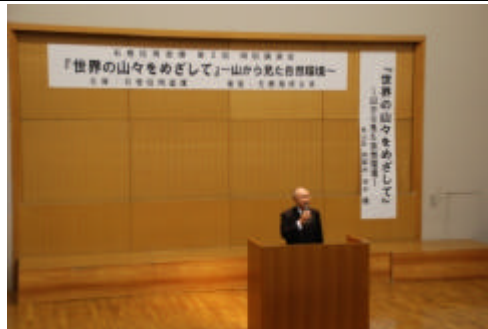


『石巻信用金庫 第2回 特別講演会』を開催いたしました

1. 日 時 平成 22 年 10 月 22 日 (金) 18 時から
2. 開催場所 石巻専修大学 森口記念館講堂
3. 講 師 田部井 淳子 氏
4. テ ー マ 世界の山々をめざして ~山から見た自然環境~
5. 参 加 者 約 500 名



司会：向陽支店 萬代



理事長挨拶



講師：田部井 淳子 氏



講演風景



講演風景



世界最高峰エベレスト登頂成功(女性世界初)



超満席の客席風景



田部井先生 講演終了の挨拶

<平成 22 年 10 月 24 日 石巻かほく新聞記事掲載内容>

ニューギニア島にあるオセアニア最高峰「カルステンツ・ピラミッド」に登る際、先住民がジャングルをはだして歩く様子に「土踏ましがクッションの役目をして、ひざや腰を守っている。普段から衰えないようにすることの大切さを痛感した」と語った。

南極大陸の最高峰登頂では、あまりの美しさに感動し、ごみはもちろん、排せつ物も持ち帰ったという。

71 歳になった今でも世界各国の最高峰をすべて登頂する活動を続けている。1 年のうち約 100 日は海外、約 50 日は国内で登山をしている。その一方、シャンソンを習い、仲間とリサイタルも開いている。

「死んでも残せるのは自分の歴史だけ。それにこれからの生活を充実させたい。そう思って始めた」と語り、「元気の色を見つけてほしい」と強調した。

<平成 22 年 10 月 23 日 石巻日日新聞記事掲載内容>

田部井さんが、南極ビンソンマシフ（4897m）に挑んだのは 1991 年。その美しさに感動し、「私たちが自然によって生かされているということを実感した。これからどんなことがあっても、この風景を思い出して切り抜けていこうと心に誓った」と振り返った。

翌年はインドネシアのカルステンツ・ピラミッド（4884m）を制覇。ガイドで雇った地元住民が、木の根が張った険しいジャングルを裸足で軽々と歩く姿に「足の指がまるで手の指のように根を握って前進していく。人間に与えられた器官で無駄なものはないのに、靴に閉じ込めているなんてもったいない」と語った。

田部井さんは、年間 150 日以上を国内外の山で過ごしているという。目標は世界各国の最高峰に登ることで、「人生に大切なものはお金でも物でもなく、自分だけの歴史を豊かにすること。『おもしろかった』と最期を迎えたい」と述べ、満場の聴衆から大きな拍手を受けていた。